

和歌山県林道整備計画

本県の森林面積は県土の約8割を占めるとともに、先人達が植栽し、育てこられた人工林は熟成し、伐採期を超えるものは、人工林全体の約8割を占めている。

また、世界的に脱炭素への動きが進む中、2050年までに、温室効果ガスの排出量から吸収量を差し引いてゼロにするという“カーボンニュートラル”が推し進められ、森林整備などの森林吸収源対策への注目が高まっている。

一方林業は、木材価格の低迷等から採算性が悪化しているため、生産性の向上に資する林道等の整備が求められている。

林道が整備されると、木材輸送の効率化や間伐等の森林整備が促進されることはもとより、現場の近くまで自動車移動できることなど、林業に従事される方々の労力の軽減や移動時間の短縮にも繋がる。

こうした状況を踏まえ、県では、市町村が開設する林道の整備に対して支援を強化するなど、林道整備の加速化を推進するとともに、「伐採して、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用を進めることとしている。

このたび、2040年までに整備する路線を林道整備計画としてまとめ、計画的な整備推進を図るとともに、林業の機械化・DX化、林業担い手の確保・育成、及び紀州材の需要拡大等を進めることにより、2040年の素材生産量50万m³を目指し、産地間の競争力強化を図る。

計画期間及び目標

計画期間：2025～2040年度

目標：135km（28路線）

当該整備に係る効果

- ・約6,700ヘクタールの人工林資源が新たに利用可能となる
- ・植えて、育てることで、約300万t-CO₂の吸収量確保が可能となる

和歌山県林道整備計画 2025～2040年度

番号	市町村名	路線名 (仮称含む)	新設 / 改築	総延長 (m)	事業計画期間		2040年度までの 整備延長(m)
					始期	終期	
1	日高川町 印南町 田辺市	日高中央線	新設	20,350	2024	2040	20,350
2	有田川町	峠上二澤線	新設	5,227	2010	2029	1,072
3	有田川町	日物川境川線	新設	4,931	2012	2025	73
4	日高川町 田辺市	縦の木線	新設	7,800	2018	2028	4,279
5	日高川町	新行線	新設	8,780	1991	2026	226
6	新宮市	上地平瀬線	新設	5,353	2010	2029	2,025
7	北山村	七色線	新設	6,964	2019	2028	6,089
8	高野町	坪井谷線	新設	5,205	2035	2044	3,123
9	広川町	古田線	改築	1,328	2038	2042	798
10	有田川町	三瀬川線	新設	5,000	2030	2039	5,000
11	有田川町	三瀬川峠線	新設	4,000	2036	2044	2,000
12	有田川町	曾の谷線	改築	1,530	2036	2044	850
13	有田川町	倉谷線	改築	1,000	2038	2043	501
14	日高川町	西原出合線	新設	5,600	2028	2035	5,600
15	日高川町	串本清冷線	新設	12,200	2030	2042	9,600
16	日高川町	池ノ尻小谷線	新設	6,700	2034	2041	6,100
17	日高川町	妹尾追谷線	新設	2,700	2038	2040	2,700
18	田辺市 みなへ町	虎ヶ峰切目辻線	新設	10,500	2028	2040	10,500
19	田辺市 白浜町	深谷川原谷線	新設	10,000	2026	2037	10,000
20	田辺市	秋津川水上線	新設	6,300	2034	2045	3,675
21	田辺市	田代蓑尾谷線	新設	5,600	2034	2044	3,267
22	田辺市	広見川線	改築	3,900	2034	2040	3,900
23	すさみ町	平尾坂本線	新設	7,000	2032	2039	7,000
24	新宮市	高田蜂伏線	新設	9,000	2027	2040	9,000
25	古座川町	高瀬宇津木線	新設	5,900	2035	2045	3,218
26	古座川町	黒谷大桑線	新設	7,400	2035	2046	3,700
27	古座川町 串本町	鶴川高瀬線	新設	6,900	2029	2040	6,900
28	北山村	七色支線	新設	3,000	2027	2036	3,000
	計	28路線		180,168			134,546